

## 単元例2 りりこのピザ屋さんをしよう (小学部)

### ステップ1 単元の構想(アイデア)

\*りりこ…トマトの品種名「凛々子」

〇組の児童は新しい活動に興味を示し、「自分でやってみたい」と思う気持ちが強い。最近、少しずつ友達のことを意識するようになり、友達の活動の様子を見て、真似をする姿も見られるようになった。

トマトを育てる活動では、どのクラスよりも一生懸命世話をし、隣のクラスの苗にも水やりをしていた。収穫して食べることもとても楽しみにしていた。

好奇心旺盛な「良さ」を生かしつつ、最後までやり遂げる経験を重ねて欲しい。また、友達との好ましい関わりも広げて欲しい。



収穫したものを切ったり茹でたりする調理はこれまでも行ってきた。簡単にできて驚きや新たな発見のある新しいものを作りたい。

児童は、トマトの絵本の「ピザ」のページを気に入って見ている。「ピザを作りたい」と言っていた児童の希望を叶えてあげたい。



餃子の皮を使った簡単なピザなら、〇組の児童にもできそう！短時間でできるから、何度も繰り返してピザ作りの練習ができるかも知れない。

ケチャップがトマトからできているということは、新しい発見になりそう。

学年の生活単元で計画している「りりこのおまつり」で、「〇組でピザを作って出す」という目標があれば、児童はますます張り切るだろうな。

おまつりの山車を作り、大好きな太鼓を叩いてにぎやかに宣伝することで、おまつりでピザ屋さんをする、という意識をもち続けられるようにしよう。

学年のおまつりでピザ屋さんをすることをテーマにしよう。

単元名「りりこのピザ屋さんをしよう」

期待する児童の姿

- ・活動に興味をもち、進んで取り組もうとする姿。
- ・友達を意識しながら、みんなで仲良く一緒に活動する姿。
- ・友達や先生に喜んでもらい、嬉しそうにする姿。

学年で行う生活単元学習と学級で行う生活単元学習とを関連付けて、単元のまとめりを持たせた実践事例です。

### ステップ2 単元指導計画の作成

単元づくりに当たって

- ・生活単元学習の時間が、学年で活動する時間と学級ごとに取り組む時間とに分かれているため、それぞれの活動の時間が制限されてしまう。単元のテーマや到達目標を意識できるような展開の工夫が必要である。
- ・主となる活動の「ピザ作り」は何度も繰り返し、おまつりの当日に自信をもって活動できるようにしたい。



- 学年の単元指導計画に関連付けて学習活動を計画することで、単元テーマに関する活動に連続して取り組むことができるようにする。
- ピザ作りやピザ屋さんの準備に十分時間をかけることができるよう、お店の準備や道具作りは、学年の生活単元や教科の学習と関連付けて行う。

学年の生活単元学習 「りりこのおまつり」 6単位時間	学級の生活単元学習 「りりこのピザ屋さんをしよう」 11単位時間	
① りりこの収穫 ・収穫したトマトの観察、試食	主な学習活動	ねらい
② りりこのおまつり ・「りりこのおまつり」の話し合い ・おまつりの山車作り	お店の相談 (1単位時間)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「りりこのおまつり」で、学級ごとにお店の準備を知ることを知る。</li> <li>・「ピザ屋さん」へのイメージや期待感をもつ。</li> </ul>
◎ 道具づくり 【図画工作】 お店や遊びコーナーの道具・看板作り	りりこのケチャップ作り (2単位時間)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達と一緒に活動することを意識しながら、意欲的に取り組む。</li> <li>・育てたトマトからケチャップを作り、ケチャップを使った料理に関心をもつ。</li> </ul>
③④おまつりの準備 ・遊びコーナーの準備 ・おまつりの紹介、宣伝	りりこのピザ作り ピザ屋さんごっこ (6単位時間)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動の見通しや次の作業が分かり、自分から行動できる。</li> <li>・作ったピザを、友達にあげることを喜び、進んで係の活動に取り組む。</li> <li>・友達と一緒に作ったり、順番に活動したりする。</li> </ul>
	ピザ屋さんの準備 (1単位時間)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達や先生にピザ屋さんの紹介をする。</li> <li>・おまつりを楽しみにしながら、飾り付けやお店の準備をする。</li> </ul>
	⑤⑥ りりこのおまつり 各コーナーをクラス単位で回って遊ぶ。 ・りりこヨーヨーつり ・りりこまとあて ・りりこの山車 ・りりこのピザ屋さん	
	活動のまとめ (1単位時間)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・おまつりの様子や頑張った自分たちの姿を写真で振り返り、充実感や満足感をもつ。</li> </ul>



### ステップ3 授業実践

～活動への見通しをもち、みんなで一緒に取り組む工夫～

#### トマトの栽培の様子から



1学期に育てた「りりこ」(トマト)



「トマトのピザ、おいしそう」  
「先生にも、作ってあげる」

\* 日常の児童の様子から、児童が育てているトマトを大切にしていること、トマトの調理を楽しみにしていることが分かりました。児童の興味・関心から単元の構想を広げました。

#### りりこのケチャップ作り



\* お互いの活動の様子が見えるように、座席の配置を工夫しました。  
みんなで協力して一つの目標に向かっていくことを意識付けるためには、座席の配置などの教室環境の工夫も必要です。



\* 出来上がったケチャップは、クラッカーに載せて試食をしました。



\* いろいろな作り方の中から、小学部3年生の児童でもできる簡単な方法を選びました。児童に合わせて使う道具を工夫し、それぞれの「できること」を生かして役割分担をして、みんなでケチャップを作りました。

#### りりこのピザ作り・ピザ屋さんの準備



\* ピザの皮は、餃子の皮を利用しました。ケチャップと材料を載せて焼く作業は、児童自身で行えるように材料や道具の配置を工夫しました。



\* 友達と作業を分担して、一つのピザを一緒に作る活動も行いました。  
友達の作業にタイミングを合わせて材料を載せるなど、相手を意識した行動ができてきました。



\* 自分でどんどん進められるようになった児童は、手順一覧表を見ながら作業を進めました。

\* おまつりの太鼓をたたいたり、ピザ屋さんの看板を見せたりしながら、学年集会でピザ屋さんの宣伝をしました。



#### 「りりこのおまつり」のピザ屋さん



\* 当日は、役割を交代しながら、ピザを作る児童、「どうぞ」と渡す児童に分かれてピザ屋さんを開きました。  
受け取る友達や先生の顔をじっと見て、「ありがとう」と言われると嬉しそうにしていました。



児童は、おまつりを楽しみながら自分の役割に自信をもって取り組み、満足感を味わったようでした。単元のまとまりをもたせるように指導計画を工夫し、「おまつりでピザ屋さんをする」ことを常に意識しながら活動できたことで、充実した単元になりました。